

## 研究機関名：東北大学

受付番号：	2014-1-643
研究課題名	薬剤関連インシデントの傾向把握と要因の解明
研究期間	西暦 2015 年 1 月（倫理委員会承認後）～ 2019 年 12 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■ その他（インシデントレポート）
上記材料の採取期間	西暦 2009 年 4 月～ 2014 年 3 月
意義、目的	<p>本研究の目的は、当院におけるインシデントの内容および要因を明らかにし、インシデント及びアクシデント発生件数の抑制に貢献することである。当院では 2009 年度から 2013 年度の 5 年間で 17124 件のインシデントが報告されており、そのうち最も多かったのは薬剤に関連するインシデントの 5740 件（約 34%）であった。薬剤に関連するインシデントは、患者の受診・入院期間の延長やそれに伴う医療費の増大だけでなく、患者の生命を脅かす自体につながる場合もある。したがって、薬剤に関連するインシデントの抑制は医療安全上重要な課題の一つである。また、診療科ごとに患者背景、スタッフの勤務体制、治療の内容などが異なることから、診療科別にインシデントの内容および要因を解析する必要がある。得られた結果は現場にフィードバックし、インシデント発生件数の抑制に貢献できるものと考えている。</p>
方法	<p>2009 年 4 月～2014 年 3 月の間に当院において発生した薬剤に関するインシデントレポートを対象に、インシデントの当事者・報告者、インシデントの内訳（薬剤の種類、投与量、薬剤の継続・中止、投与方法、管理方法、その他）、発生時間等のデータを、診療科別や薬剤別などに基づく層別解析を行う。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	<p>山口 浩明（副薬剤部長）          東北大学病院薬剤部          〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1          TEL 022-717-7528          E-mail yamaguchi@hosp.tohoku.jp</p>